



## 2019年9月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社サカイホールディングス  
 コード番号 9446 URL <http://sakai-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 貴將

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田川 正彦

TEL 052-262-4499

定時株主総会開催予定日 2019年12月18日

配当支払開始予定日

2019年12月19日

有価証券報告書提出予定日 2019年12月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期の連結業績(2018年10月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	16,747	11.1	981	13.2	787	9.1	367	4.8
2018年9月期	18,842	6.1	866	19.5	722	1.0	350	21.4

(注) 包括利益 2019年9月期 223百万円 (13.9%) 2018年9月期 259百万円 (54.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年9月期	35.62	35.04	10.8	3.0	5.9
2018年9月期	32.24	31.57	9.0	2.9	4.6

(参考) 持分法投資損益 2019年9月期 百万円 2018年9月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	26,757	3,282	10.9	284.70
2018年9月期	26,130	4,225	14.8	355.35

(参考) 自己資本 2019年9月期 2,921百万円 2018年9月期 3,872百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年9月期	855	2,655	404	4,174
2018年9月期	1,941	2,311	1,889	5,570

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年9月期		11.50		13.50	25.00	272	77.5	7.0
2019年9月期		12.50		12.50	25.00	256	70.2	7.8
2020年9月期(予想)		12.50		12.50	25.00		70.9	

### 3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,988	3.7	506	29.7	415	40.6	237	31.7	22.96
通期	16,604	0.9	927	5.6	749	4.9	364	1.1	35.24

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期	10,956,500 株	2018年9月期	10,956,500 株
期末自己株式数	2019年9月期	693,628 株	2018年9月期	57,828 株
期中平均株式数	2019年9月期	10,329,458 株	2018年9月期	10,886,506 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況、(1)当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況.....	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	19
4. その他 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、マイナス金利政策も長期に及ぶなか、緩やかな景気回復が継続するものの、業態により将来を見据えた業務提携等が散見される他、企業業績については消費増税を控え消費の変動がみられるなか景気の底堅さを背景に企業努力も伴い、安定的な経済基調が定着した感がありました。

このような状況のもと、当社グループは、再生可能エネルギー事業の増強、携帯ショップの総合的評価の向上と採算性の見直し、保険代理店事業の販売力と生産性の向上、葬祭事業における会員募集の強化と質的向上に注力しております。

その結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高は16,747百万円（前期比11.1%減）、営業利益は981百万円（前期比13.2%増）、経常利益は787百万円（前期比9.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は367百万円（前期比4.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、太陽光発電12ヶ所（株式会社サカイホールディングスで11ヶ所、子会社のエスケーアイ開発株式会社で1ヶ所各々運営）を開設し、第4四半期に頻発した風水害の被害にも殆んど影響を受けず、順調に稼働しております。この結果、当連結会計年度における売上高は1,783百万円（前期比8.1%増）、営業利益は874百万円（前期比5.5%増）となりました。

#### ②移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、各店舗の総合的な評価の向上に努め、積極的な営業展開を継続してまいりました。また、今後のユーザーのニーズと各地域の動向を勘案し、Y!mobileショップ4店舗を出店いたしました。この結果、期末店舗数は60店舗（全て直営）の店舗展開となりました。また、2019年6月末現在で携帯電話の普及台数が17,720万台を超えましたが、iPhoneの新機種発売を前にした買い控えと携帯端末の買替サイクルの長期化の影響が大きく、当連結会計年度における移動体通信機器の販売台数は減少し、新規・機種変更を合わせ105,626台（前期比22.4%減）となり、その内訳は、新規が41,362台（前期比7.9%減）、機種変更が64,264台（前期比29.6%減）となりました。この結果、当連結会計年度における売上高は13,066百万円（前期比14.5%減）、営業利益は639百万円（前期営業利益比42.5%増）となりました。

#### ③保険代理店事業

コールセンターを拠点とした保険代理店事業につきましては、子会社である株式会社セントラルパートナーズにおいて、2016年5月の保険業法の改正にも継続的対応しながら外販部門の業務も軌道に乗せており、今後更に組織・体制の強化と充実を図り、営業効率を強化して販売力と生産性の向上に繋げるほか、各保険会社毎・各商品毎の優位性を検証しながら複数の保険会社の新商品の取扱を継続しております。この結果、当連結会計年度における売上高は1,148百万円（前期比3.4%減）、営業利益は100百万円（前期比27.5%減）となりました。

#### ④葬祭事業

葬祭事業につきましては、子会社であるエスケーアイマネジメント株式会社で2010年7月に葬儀会館「ティア西尾」をオープン以降、各会館の認知度も着実に上昇するなか、今後の需要を見据えた積極的な出店を計画しております。2019年6月には6会館目となる「ティア幸田」を先行投資は伴いましたが、新規オープンいたしました。この結果、当連結会計年度における売上高は683百万円（前期比4.6%増）、営業利益は27百万円（前期比40.0%減）となりました。

#### ⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社で2007年8月に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープン後、稼働率が順調に推移しております。この結果、当連結会計年度における売上高は87百万円（前期比6.2%増）、営業利益は23百万円（前期比26.0%増）となりました。

（来期の見通し）

2017年10月1日からの持株会社化に伴い、当社は再生可能エネルギー事業と各子会社の管理業務を行っております。2020年9月期におきましては、再生可能エネルギー事業は、第3四半期以降に稼働を開始した4発電所が通期の業績に寄与するため好条件の案件に関する検討も積極的に行う他、増収・増益で推移するものと予測しており、引続き各子会社の管理業務に関する経営指導料および配当金を収受することといたします。また、各移動体通信事業者は引続きiPhoneをはじめスマートフォンの需要増を見据えた営業政策の他通信とのセット販売等を積極的に展開しております。当業界は、移動体通信事業者の意向により店舗の集約、閉鎖が継続しておりますが、引続き経営の効率性と立地条件を考慮して既存店舗の収益力の向上に努めてまいります。

来期における当社グループの業績は、持株会社化に伴う管理コストを含め、売上高16,604百万円、営業利益927百万円、経常利益749百万円、親会社株主に帰属する当期純利益364百万円を予想いたしております。

セグメント別では、来期における再生可能エネルギー事業の業績は、売上高2,429百万円、営業利益501百万円を予想いたしております。移動体通信機器販売関連事業については、売上高12,123百万円、営業利益366百万円を予想いたしております。保険代理店事業については、売上高1,254百万円、営業利益107百万円を予想いたしております。葬祭事業については、売上高848百万円、営業損失8百万円を予想いたしております。不動産賃貸・管理事業につきましては売上高82百万円、営業利益6百万円などであります。

## （2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末の資産合計は26,757百万円となり、前連結会計年度末の資産合計26,130百万円と比べ627百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が1,396百万円減少した一方で、売掛金が365百万円、有形固定資産が1,106百万円、無形固定資産が452百万円増加したことなどによるものです。

（負債）

当連結会計年度末の負債合計は23,475百万円となり、前連結会計年度末の負債合計21,904百万円と比べ1,570百万円増加しました。これは主に、短期借入金が677百万円、1年内返済予定の長期借入金が368百万円、長期借入金が1,044百万円増加した一方で、社債が500百万円減少したことなどによるものです。

（純資産）

当連結会計年度末の純資産合計は3,282百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計4,225百万円と比べ943百万円減少しました。これは主に、自己株式が848百万円増加したことによるものです。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動および財務活動による資金の増加を、投資活動による資金の減少に充てた結果、前連結会計年度末に比べ1,396百万円減少し、当連結会計年度末は4,174百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フローについて）

営業活動による資金の増加は855百万円（前期比56.0%減）となりました。これは税金等調整前当期純利益が643百万円（前期比6.3%増）、減価償却費が722百万円（前期比5.8%増）、棚卸資産の増減で177百万円の資金の増加（前期比7.9%増）および売上債権の増減で365百万円の資金の減少（前期比82.2%増）、未収消費税等の増減で123百万円の資金の減少（前期は457百万円の資金の増加）となったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フローについて）

投資活動による資金の減少は2,655百万円（前期比14.9%増）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2,330百万円（前期比2.7%減）および無形固定資産の取得による支出294百万円（前期比1,129.8%増）などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フローについて）

財務活動による資金の増加は404百万円（前期比78.6%減）となりました。これは長期借入金の借入による収入2,401百万円（前期比6.4%減）、長期借入金の返済による支出988百万円（前期比36.9%増）および自己株式の取得による支出899百万円（前期比1,026.9%増）があったことなどによるものです。

（4）利益分配に関する基本方針及び当期・来期の配当

当社は、株主への利益還元を経営の最重要課題の一つと考え、そのための収益力を強化するとともに、株主に対する積極的な利益還元策を実施し、配当性を30%以上とすることを基本としております。

2019年9月期の利益配当につきましては、太陽光発電事業による近い将来の増益と優遇税制の適用による資金の充足を勘案いたしまして、1株当たりの配当予想額を12.5円としております。また、来期における1株当たりの配当予想額は25円としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,690,584	4,294,404
売掛金	2,622,740	2,988,201
商品	803,021	625,306
その他	146,492	465,543
流動資産合計	9,262,839	8,373,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,973,145	2,323,429
機械装置及び運搬具（純額）	7,214,379	9,807,241
土地	2,927,758	3,339,560
建設仮勘定	2,322,300	71,614
その他（純額）	60,705	62,720
有形固定資産合計	14,498,288	15,604,566
無形固定資産		
のれん	180,568	600,996
その他	476,781	508,981
無形固定資産合計	657,349	1,109,978
投資その他の資産		
投資有価証券	764,883	660,366
差入保証金	318,145	333,339
その他	629,206	684,008
貸倒引当金	—	△7,863
投資その他の資産合計	1,712,234	1,669,852
固定資産合計	16,867,873	18,384,397
資産合計	26,130,712	26,757,854

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	995,070	986,732
短期借入金	3,882,336	4,560,000
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	843,635	1,211,691
未払金	144,473	119,473
未払法人税等	204,653	239,933
賞与引当金	130,451	144,112
役員賞与引当金	63,000	64,500
その他	574,430	514,068
流動負債合計	7,338,051	8,340,511
固定負債		
社債	1,240,000	740,000
長期借入金	12,228,150	13,272,748
繰延税金負債	489,264	348,087
役員退職慰労引当金	115,300	137,000
退職給付に係る負債	103,320	113,738
資産除去債務	269,184	276,319
その他	121,605	246,712
固定負債合計	14,566,824	15,134,605
負債合計	21,904,876	23,475,116
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	747,419	747,419
資本剰余金	684,918	684,918
利益剰余金	2,132,029	2,190,132
自己株式	△39,909	△888,452
株主資本合計	3,524,457	2,734,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,313	336,725
繰延ヘッジ損益	△61,884	△148,914
その他の包括利益累計額合計	348,428	187,810
新株予約権	11,287	9,347
非支配株主持分	341,662	351,561
純資産合計	4,225,836	3,282,737
負債純資産合計	26,130,712	26,757,854

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2017年10月1日 至 2018年9月30日）	当連結会計年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）
売上高	18,842,081	16,747,814
売上原価	13,319,714	10,961,075
売上総利益	5,522,367	5,786,739
販売費及び一般管理費	4,655,585	4,805,124
営業利益	866,782	981,614
営業外収益		
受取利息	46	193
受取配当金	23,744	26,484
投資有価証券売却益	408	—
設備補助金収入	37,476	8,149
営業支援金収入	—	18,600
受取保険金	13,723	8,769
その他	25,418	35,785
営業外収益合計	100,817	97,982
営業外費用		
支払利息	154,035	185,577
融資手数料	40,329	63,616
社債発行費	17,162	—
為替差損	12,132	5
その他	21,832	42,913
営業外費用合計	245,492	292,113
経常利益	722,106	787,483
特別利益		
固定資産売却益	278	5,132
受取保険金	158,516	—
特別利益合計	158,795	5,132
特別損失		
固定資産除却損	16,278	17,358
投資有価証券評価損	—	2,632
減損損失	102,406	128,638
災害による損失	156,304	—
特別損失合計	274,990	148,629
税金等調整前当期純利益	605,911	643,986
法人税、住民税及び事業税	206,522	372,108
法人税等調整額	19,655	△111,840
法人税等合計	226,177	260,268
当期純利益	379,733	383,717
非支配株主に帰属する当期純利益	28,764	15,792
親会社株主に帰属する当期純利益	350,969	367,924

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2017年10月1日 至 2018年9月30日）	当連結会計年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）
当期純利益	379,733	383,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105,323	△73,497
繰延ヘッジ損益	△15,222	△87,030
その他の包括利益合計	△120,546	△160,527
包括利益	259,187	223,190
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	230,621	207,306
非支配株主に係る包括利益	28,565	15,883

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2017年10月1日 至 2018年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	747,419	684,918	2,077,993	△21,460	3,488,871
当期変動額					
剰余金の配当			△267,047		△267,047
親会社株主に帰属する 当期純利益			350,969		350,969
自己株式の取得				△79,855	△79,855
自己株式の処分			△29,885	61,406	31,520
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	54,035	△18,449	35,586
当期末残高	747,419	684,918	2,132,029	△39,909	3,524,457

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	515,438	△46,661	468,776	14,889	319,082	4,291,619
当期変動額						
剰余金の配当						△267,047
親会社株主に帰属する 当期純利益						350,969
自己株式の取得						△79,855
自己株式の処分						31,520
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△105,124	△15,222	△120,347	△3,602	22,580	△101,369
当期変動額合計	△105,124	△15,222	△120,347	△3,602	22,580	△65,783
当期末残高	410,313	△61,884	348,428	11,287	341,662	4,225,836

当連結会計年度（自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	747,419	684,918	2,132,029	△39,909	3,524,457
当期変動額					
剰余金の配当			△275,280		△275,280
親会社株主に帰属する 当期純利益			367,924		367,924
自己株式の取得				△899,854	△899,854
自己株式の処分			△34,541	51,311	16,770
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	58,102	△848,542	△790,439
当期末残高	747,419	684,918	2,190,132	△888,452	2,734,017

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	410,313	△61,884	348,428	11,287	341,662	4,225,836
当期変動額						
剰余金の配当						△275,280
親会社株主に帰属する 当期純利益						367,924
自己株式の取得						△899,854
自己株式の処分						16,770
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△73,587	△87,030	△160,618	△1,939	9,898	△152,658
当期変動額合計	△73,587	△87,030	△160,618	△1,939	9,898	△943,098
当期末残高	336,725	△148,914	187,810	9,347	351,561	3,282,737

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2017年10月1日 至 2018年9月30日）	当連結会計年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	605,911	643,986
減価償却費	682,357	722,258
のれん償却額	—	7,739
減損損失	102,406	128,638
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,161	7,863
賞与引当金の増減額（△は減少）	18,955	13,660
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	7,800	1,500
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	21,090	21,700
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	19,375	10,418
受取利息及び受取配当金	△23,790	△26,677
支払利息	154,035	185,577
社債発行費	17,162	—
固定資産除売却損益（△は益）	16,000	12,226
投資有価証券売却益	△408	—
為替差損益（△は益）	12,132	5
受取保険金	△158,516	—
災害による損失	156,304	—
売上債権の増減額（△は増加）	△200,535	△365,460
たな卸資産の増減額（△は増加）	164,729	177,714
仕入債務の増減額（△は減少）	△59,050	△8,338
未払金の増減額（△は減少）	29,853	△15,772
前受金の増減額（△は減少）	252	156,883
未収消費税等の増減額（△は増加）	457,426	△123,759
未払消費税等の増減額（△は減少）	226,721	△206,199
その他	△143,836	16,221
小計	2,105,217	1,360,185
利息及び配当金の受取額	23,790	26,677
利息の支払額	△153,018	△187,330
保険金の受取額	158,516	—
法人税等の支払額	△193,023	△344,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,941,482	855,011
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△120,032	△100,327
定期預金の払戻による収入	120,022	100,016
有形固定資産の取得による支出	△2,395,301	△2,330,534
有形固定資産の売却による収入	11,268	12,458
無形固定資産の取得による支出	△23,968	△294,757
投資有価証券の取得による支出	△30,426	△34,000
投資有価証券の償還による収入	—	29,580
投資有価証券の売却による収入	30,426	—
差入保証金の差入による支出	△13,421	△25,444
差入保証金の回収による収入	15,286	8,376
預り保証金の受入による収入	584	181
その他	94,274	△21,287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,311,288	△2,655,735

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△191,996	677,664
長期借入れによる収入	2,565,940	2,401,000
長期借入金の返済による支出	△722,102	△988,346
社債の発行による収入	882,837	—
社債の償還による支出	△320,000	△500,000
配当金の支払額	△267,341	△275,070
非支配株主への配当金の支払額	△5,985	△5,985
自己株式の取得による支出	△79,855	△899,854
ストックオプションの行使による収入	27,918	14,830
その他	—	△20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,889,414	404,238
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△5
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,519,609	△1,396,490
現金及び現金同等物の期首残高	4,050,942	5,570,552
現金及び現金同等物の期末残高	5,570,552	4,174,062

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、経営組織の形態、商品・サービスの特性から、報告セグメントを「再生可能エネルギー事業」、「移動体通信機器販売関連事業」、「保険代理店事業」、「葬祭事業」および「不動産賃貸・管理事業」の5つとしております。

「再生可能エネルギー事業」は、太陽光発電所で発電した電気を電力会社に販売することにより、20年間固定された売電単価で売電代金を収受する事業であります。

「移動体通信機器販売関連事業」は、一般ユーザーに対し、移動体通信キャリアが提供する移動体通信機器の販売および移動体通信サービスの加入契約取り次ぎを行う事業であります。

「保険代理店事業」は、保険会社からの委託を受け、医療保険等第三分野の保険の募集を行う事業であります。

「葬祭事業」は、一般顧客に対し、葬儀の施行全般を請け負うと同時に、葬儀終了後の忌明け法要や年忌法要を請け負う事業であります。

「不動産賃貸・管理事業」は、不動産物件（駐車場）の賃貸借募集を行うと同時に、その他一般消費者の利用を目的とする事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2017年10月1日 至 2018年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売 関連事業	保険代理 店事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,650,385	15,286,903	1,189,333	653,375	62,084	18,842,081	—	18,842,081
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	19,835	19,835	△19,835	—
計	1,650,385	15,286,903	1,189,333	653,375	81,919	18,861,917	△19,835	18,842,081
セグメント利益	829,458	448,952	138,018	46,316	18,628	1,481,373	△614,591	866,782
セグメント資産	13,602,345	4,517,813	1,580,634	1,484,012	516,768	21,701,574	4,451,372	26,152,947
その他の項目								
減価償却費	551,621	40,435	10,167	38,522	23,428	664,174	18,182	682,357
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	352,524	52,047	—	1,158	236	405,966	45,757	451,723

- (注) 1. (1) セグメント利益の調整額△614,591千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△615,253千円、その他の調整額662千円が含まれております。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額4,451,372千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産7,686,855千円、セグメント間取引消去等△3,235,483千円が含まれております。
- (3) 減価償却費の調整額18,182千円には、全社資産に係る減価償却費等が含まれております。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額45,757千円には、全社における有形固定資産及び無形固定資産の増加等が含まれております。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産は、連結財務諸表の資産合計と調整を行っております。
4. セグメント負債の金額は当社の最高意思決定機関において定期的に提供、使用しておりません。
5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、建設仮勘定の増加額は含めておりません。

当連結会計年度（自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売 関連事業	保険代理 店事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,783,480	13,066,004	1,148,887	683,172	66,268	16,747,814	—	16,747,814
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	20,735	20,735	△20,735	—
計	1,783,480	13,066,004	1,148,887	683,172	87,004	16,768,549	△20,735	16,747,814
セグメント利益	874,789	639,666	100,101	27,780	23,466	1,665,804	△684,190	981,614
セグメント資産	15,010,167	4,581,383	1,990,385	1,796,110	528,618	23,906,665	2,851,188	26,757,854
その他の項目								
減価償却費	600,839	39,512	9,036	38,554	23,121	711,064	18,933	729,997
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	4,233,566	139,806	4,361	255,141	—	4,632,876	57,169	4,690,045

- (注) 1. (1) セグメント利益の調整額△684,190千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△694,788千円及び、その他の調整額10,598千円が含まれております。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額2,851,188千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産7,563,063千円、セグメント間取引消去等△4,711,875千円が含まれております。
- (3) 減価償却費の調整額18,933千円には、全社資産に係る減価償却費等が含まれております。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額57,169千円には、全社における有形固定資産及び無形固定資産の増加等が含まれております。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産は、連結財務諸表の資産合計と調整を行っております。
4. セグメント負債の金額は当社の最高意思決定機関において定期的に提供、使用しておりません。
5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、建設仮勘定の増加額は含めておりません。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 2017年10月1日 至 2018年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ソフトバンク株式会社	12,277,071	移動体通信機器販売関連事業
KDDI株式会社	2,904,633	移動体通信機器販売関連事業

当連結会計年度（自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ソフトバンク株式会社	10,905,181	移動体通信機器販売関連事業
KDDI株式会社	2,082,205	移動体通信機器販売関連事業

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 2017年10月1日 至 2018年9月30日）

（単位：千円）

	再生可能 エネルギー事業	移動体通信機器 販売関連事業	保険代理店事業	葬祭事業	不動産賃貸・ 管理事業	合計
減損損失	79,800	22,606	—	—	—	102,406

当連結会計年度（自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）

（単位：千円）

	再生可能 エネルギー事業	移動体通信機器 販売関連事業	保険代理店事業	葬祭事業	不動産賃貸・ 管理事業	合計
減損損失	—	128,638	—	—	—	128,638

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 2017年10月1日 至 2018年9月30日）

（単位：千円）

	再生可能 エネルギー事業	移動体通信機器 販売関連事業	保険代理店事業	葬祭事業	不動産賃貸・ 管理事業	合計
当期償却額	—	—	—	—	—	—
当期末残高	180,568	—	—	—	—	180,568

当連結会計年度（自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）

（単位：千円）

	再生可能 エネルギー事業	移動体通信機器 販売関連事業	保険代理店事業	葬祭事業	不動産賃貸・ 管理事業	合計
当期償却額	7,739	—	—	—	—	7,739
当期末残高	600,996	—	—	—	—	600,996

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2017年10月1日 至 2018年9月30日）	当連結会計年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）
1株当たり純資産額	355円 35銭	284円 70銭
1株当たり当期純利益金額	32円 24銭	35円 62銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	31円 57銭	35円 04銭

（注）1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

	前連結会計年度 （自 2017年10月1日 至 2018年9月30日）	当連結会計年度 （自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 （千円）	350,969	367,924
普通株主に帰属しない金額 （千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益金額 （千円）	350,969	367,924
期中平均株式数 （株）	10,886,506	10,329,458
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 （千円）	—	—
普通株式増加数 （株）	230,957	169,564
（うち新株予約権） （株）	(230,957)	(169,564)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調 整後1株当たり当期純利益金額の算定に 含めなかった潜在株式で、前連結会計年 度末から重要な変動があったものの概要	—	—

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・新任取締役候補

該当事項はありません。

・新任監査役候補

該当事項はありません。

・退任予定監査役

該当事項はありません。

(2) その他

該当事項はありません。